

2019 年度 愛知学泉大学シラバス

科目番号	科目名	担当者名	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
2101412	未来へつなぐアウトリーチ I Outreach activity for the future I	家政学部全教員	基礎	1	必修	1 年前期 集中

科目の概要

この授業は家政学部の教育目標である建学の精神(四大精神)・社会人基礎力を実践する場としても位置付けています。「未来へつなぐアウトリーチスタートアップ」で作成した実施計画案に基づいたボランティア・アウトリーチ活動に取り組みます。PDCA(P:計画、D:実施、C:チェック、A:修正)サイクルを活用して、家政学の核となる衣・食・住・消費活動など家政学の視点から旭地区の課題を発見し、その課題解決(pisa 型学力=知識の獲得・活用・解決する力)を目指します。互いの活動を共有する振り返りとして、1 年生と教員全員が参加する成果発表会を実施します。

学修内容	到達目標
① ボランティア・アウトリーチを実践する。 ② 地区が抱える課題を家政学の視点(知識の活用 pisa 型学力)から抽出する。 ③ 建学の精神(四大精神)、社会人基礎力を発揮する。 ④ PDCA サイクルを活用する。 ⑤ 活動成果を整理し発表する。	① ボランティア・アウトリーチを実践するにあたり、ボランティア先の方のコミュニケーションをとり実践できる。 ② 地区の課題を家政学の視点から発見し、課題解決(pisa 型学力)できる。 ③ 建学の精神(四大精神)、社会人基礎力を発揮できる。 ④ PDCA サイクルを活動に活かすことができる。 ⑤ 自己のボランティア活動の成果を到達目標の①～④の内容を観点に発表ができる。

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素

学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例

前に踏み出す力	主体性	活動の目的・目標を自己のものとして、教員やメンバーから言われたことだけでなく、自らやるべきことは何かを考え、実行しようとする意識をもつことができる。
	働きかけ力	活動の目的・目標に向かって「やろうよ」と呼びかけ、グループメンバーに影響力を与える行動へと進めることができる。
	実行力	活動の目的・目標を達成しようという意志を持ち、決めたこと、決められたことは確実に成し遂げる行動を続けることができる。
考え抜く力	課題発見力	活動の目的・目標の達成に向かって、家政学の視点に立って、現状を把握し自ら「ここに問題があり、解決が必要だ」と提案することができる。
	計画力	活動の中で発見する課題を解決する複数の手順(プロセス)を思考し、その中で最善のものは何かを提案することができる。さらに何をいつまでに実行するか計画することができる。
	創造力	活動中に発生する課題解決に対して固定観念や既存の発想にとらわれることなく、家政学の視点に立ち、自由な発想・コミュニケーション・行動ができる。
チームで働く力	発信力	自分の意見・考え・提案を持ち、それを分かりやすく整理して、グループメンバー、ボランティア先の方に伝えることができる。
	傾聴力	グループメンバー、ボランティア先の方の話に適切なタイミングで相槌、うなずきをしながら聴き、話しやすい環境をつくることができ、話の内容を理解することができる。
	柔軟性	グループメンバー、ボランティア先の方からの意見・考え・提案に相違点があっても反対するのではなく受容し、自分と相手の意見・考え・提案を整理して、目的・目標に向かって前進させることができる。
	状況把握力	自分の立場・役割・使命を理解し、グループメンバー、ボランティア先の方がどのような関係にあるのか、物事がどのように進行しているか把握できる。
	規律性	活動の中で、人と人との約束ごとである一般社会のルールや慣習、あるいはチーム内のルールや慣習を守り行動ができる。
	ストレスコントロール力	活動の中で、ストレスを感じる出来事を自分の成長の機会だとポジティブに捉えることができる。

テキスト及び参考文献

テキスト: 毎回、配布するワークシートが、皆さんと一緒に作り上げるテキストです。最終的には自分の教科書となります。
参考文献: 無限の可能性-学泉ノート-

他科目との関連、資格との関連

他科目との関連: 家政学で学ぶ科目の社会人基礎力(学修態度)と関連します。

学修上の助言	受講生とのルール
ワークシートは整理し、出題される課題は完成させておきます。指定された資料は理解して次の授業に臨みます。	この授業では、家政学の基本である衣・食・住・消費活動の面から課題を発見し、解決に必要な知識を獲得・活用します。日常生活の中で発生する課題を意識します。また、活動先の方々、メンバーとの活動が中心となります。日頃から明るい表情、コミュニケーション力を意識した行動をとりましょう。

【評価方法】

評価方法	評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント
筆記試験		①	
		②	
		③	
		④	
		⑤	
小テスト		①	
		②	
		③	
		④	
		⑤	
レポート	60	①	✓
		②	✓
		③	✓
		④	✓
		⑥	✓
			<p>(評価方法)</p> <p>① 毎回のボランティア・アウトリーチ活動では、ボランティア先の方とコミュニケーションをとり、課題解決の行動ができています。そして、ワークシートに記載している。</p> <p>② 建学の精神(四大精神)、社会人基礎力(主体性・実行力・課題発見力・創造力・発信力・傾聴力・規律性)の能力要素が学泉ノートの評価レベル3に到達できています。そして、ワークシートに記載している。</p> <p>③ 地区の課題を家政学の視点から抽出し、課題解決の知識の獲得(pisa 型学力)が毎回の授業で実行できています。そして、ワークシートに記載している。</p> <p>④ 授業は常にPDCAサイクルを意識し、実践できています。そして、ワークシートに記載している。</p> <p>⑤ 授業の成果を到達目標①～④の観点で発表ができています。そして、ワークシートに記載している。</p> <p>(評価)</p> <p>S:①～⑤全て対応している</p> <p>A:①～⑤のいずれか3つは対応している</p> <p>B:①～⑤のいずれか2つは対応している</p> <p>C:①～⑤のいずれか1つは対応している</p> <p>F:①～⑤に該当していない</p>
成果発表 (口頭・実技)	30	①	
		②	
		③	
		④	
		⑤	✓
			<p>(評価方法)</p> <p>① 毎回のボランティア・アウトリーチ活動では、ボランティア先の方とコミュニケーションをとり、課題解決の行動が具体的な発表ができています。</p> <p>② 建学の精神(真心・努力・奉仕・感謝)、社会人基礎力(主体性・実行力・課題発見力・創造力・発信力・傾聴力・規律性)の能力要素の学泉ノートの評価レベル3に到達している行動について、具体的な発表ができています。</p> <p>③ 地区の課題を家政学の視点から発見し、課題解決の知識の活用とさらなる獲得(pisa 型学力)をして課題を解決したことを具体的な発表ができています。</p> <p>④ PDCA サイクルを発揮して活動を具体的な発表ができています。</p> <p>(評価)</p> <p>14 週<グループ内での発表>は 20%、15 週<全体での発表>は 10%で以下の評価観点より評価します</p> <p>S～F の評価は、ルーブリックで評価します。ルーブリックの評価観点、尺度は授業ないで担当教員より示されます。</p>
作品		①	
		②	
		③	
		④	
		⑤	
社会人基礎力 (学修態度)	10	①	✓
		②	✓
		③	✓
		④	✓
		⑥	✓
			<p>以下の能力評価方法は、グループを担当する教員より特にどのような観点で評価するか具体的な説明をします。</p> <p><主体性></p> <p>・チーム活動の目的・目標を自己のものとして、教員やメンバーから言われたことだけでなく、自らやるべきことは何かを考え、実行しようとする意識をもつことができている。そして、内容はワークシートに記述できている。</p> <p><働きかけ力></p>

			<p>・チーム活動の目的・目標に向かって「やろうよ」と呼びかけ、グループメンバーに影響力を与える行動へと進めることができている。そして、内容はワークシートに記述できている。</p> <p><実行力></p> <p>・活動の目的・目標を達成しようという意志を持ち、PDCA サイクルの全ての局面で、決めたこと、決められたことを確実に成し遂げる行動ができている。そして、内容はワークシートに記述できている。</p> <p><課題発見力></p> <p>・グループメンバー、ボランティア先の方とのディスカッション時に目的・目標の達成に向かって、現状を把握し自ら「ここに問題があり、解決が必要だ」と毎回の授業で提案することができている。そして、内容はワークシートに記述できている。</p> <p><計画力></p> <p>・ボランティア活動の目的・目標の達成に向けて、発見される課題を解決するために計画したことが PDCA サイクルを活用して実施できている。そして、内容はワークシートに記述できている。</p> <p><創造力></p> <p>ボランティア活動の目的・目標の達成に向けて、自分の意見・考え・提案をする行動ができている。そして、内容はワークシートに記述できている。</p> <p><発信力></p> <p>・ボランティア活動の目的・目標の達成に向けて、課題発見、解決に必要な自分の意見・考え・提案を持ち、それを分かりやすく整理して、メンバー、ボランティア先の方に伝える行動ができている。そして、内容はワークシートに記述できている。</p> <p><傾聴力></p> <p>・グループメンバー、ボランティア先の方が話されている時は、適切なタイミングで相槌、うなずきをしながら聴き、話しやすい環境をつくることができ、話の内容を理解することができている。そして、内容はワークシートに記述できている。</p> <p><柔軟性></p> <p>・グループメンバー、ボランティア先の方からの意見・考え・提案に自分と相違点があっても反対するのではなく受容し、自分と相手の意見・考え・提案を整理して、目的・目標に向かって前進させる意見をいうことができている。そして、内容はワークシートに記述できている。</p> <p><規律性></p> <p>・実習を通して、一般社会でのルールや慣習を守る行動ができている。そして、内容はワークシートに記述できている。</p> <p><状況把握力></p> <p>・自分の立場・役割・使命を理解し、グループメンバー、ボランティア先の方がどのような関係にあるのか、物事がどのように進行しているか把握しながら実行できている。そして、内容はワークシートに記述できている。</p> <p><ストレスコントロール力></p> <p>・活動の中で、ストレスを感じる出来事を自分の成長の機会だとポジティブに捉えた行動ができている。そして、内容はワークシートに記述できている。</p> <p>(評価)</p> <p>以上の能力要素は学泉ノート評価レベル3以上実行できていることで10点満点とします。評価レベル3以下の能力は1ポイント減点します(0%が最低となります)。評価はワークシート、担当教員が実習行動より評価します。</p>
総合評価 割合	100		

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)の基準
<p>① ボランティア・アウトリーチを実践するにあたり、ボランティア先の方と課題発見と課題解決についてコミュニケーションを常にとることができている。そして、その内容がワークシートに記述できている。</p> <p>② 真心を持って実習に取り組み、メンバー、ボランティア先の方を尊敬し、ボランティア先の課題解決に全力で取り組み(努力)、自分の能力・労力を捧げ(奉仕)、実践させてもらっているボランティア先の方、メンバーに感謝の気持ちを常に行動に現すことができている。そして、その内容がワークシートに記述できている。</p> <p>③ 社会人基礎力の12の能力要素は、学泉ノートの評価レベ</p>	<p>① ボランティア・アウトリーチを実践するにあたり、ボランティア先の方から課題発見と課題解決についてコミュニケーションをとることができている。そして、その内容がワークシートに記述できている。</p> <p>② 真心を持って実習に取り組み、メンバー、ボランティア先の方を尊敬し、ボランティア先の課題解決に全力で取り組み(努力)、自分の能力・労力を捧げ(奉仕)、実践させてもらっているボランティア先の方、メンバーに感謝の気持ちを時々行動に現すことができる。そして、その内容がワークシートに記述できている。</p>

<p>ル3以上発揮できている。そして、その内容がワークシートに記述されている。</p> <p>④ ボランティア先が抱える課題を家政学の視点から発見し、課題解決の知識を獲得 (pisa 型学力) する成果が3つ以上できている。そして、その内容がワークシートに記述できている。</p> <p>⑤ 目的・目標を達成するための PDCA サイクルがワークシートに記述されており、その行動が実践できている。そして、その内容がワークシートに記述できている。</p> <p>⑥ 自己のボランティア活動の成果を到達目標の①～④を観点として、自分とグループが共同で活動したことが発表できている。そして、その内容がワークシートに記述できている。</p> <p>・①から⑤全てが、毎週の授業で実行されている・・・S ・①から⑤全てが、毎週ではないが実行されている・・・A</p>	<p>③ 社会人基礎力の12の能力要素の【主体性・実行力・課題発見力・創造力・発信力・傾聴力・規律性】は、学泉ノートの評価レベル3以上発揮できている。そして、その内容がワークシートに記述できている。</p> <p>④ ボランティア先が抱える課題を家政学の視点から発見し、課題解決の知識を獲得 (pisa 型学力) する成果が2つ以上できている。そして、その内容がワークシートに記述できている。</p> <p>⑤ 目的・目標を達成するための PDCA サイクルがワークシートに記述されている。そして、その内容がワークシートに記述できている。</p> <p>⑥ 自己のボランティア活動の成果を到達目標①～④を観点として、自分の活動について発表できている。そして、その内容がワークシートに記述できている。</p>
---	---

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベル C(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1週 /				(予習) ・pisa 型学力、建学の精神(四大精神)、社会人基礎力をどのように発揮するか明確にしておく。 ・実施計画書の再確認する	30	主体性 実行力 課題発見力 創造力
2週 /	<活動準備> ・pisa 型学力、社会人基礎力、建学の精神(四大精神)の確認 ・自己の課題と達成目標、行動目標を明確化 ・実施計画書より活動場所の課題、注意点、実施事項の確認 ・活動に必要な物品の準備	この活動の進め方の講義後、実習 スタートアップで作成した実施計画書を元に、グループ活動の内容を再度確認、問題があれば修正する	・課題が明確に抽出できる ・活動で準備する物、注意する事をワークシートに記述できる	(復習) ・実施計画書を再度確認する ・自己の課題・達成目標を明確にして、ワークシートに記述する ・活用に必要な物品、注意する事を確認する ・自己の pisa 型学力、建学の精神(四大精神)、社会人基礎力の発揮法を確認する		
3週 /	<活動1回目>			(予習) ・自己の pisa 型学力、建学の精神(四大精神)、社会人基礎力をどのように発揮するか意識づける	30	主体性 実行力 働きかけ力 状況把握力 課題発見、創造力、発信力、傾聴力、規律性、柔軟性 ストレスコントロール力
4週 /	・実施計画に基づき、活動の達成目標と自分の行動目標の確認 ・活動中の疑問点はメモし、活動終了後課題の整理、課題の達成度、学びの整理	実習 ・現地で、自己の行動目標を宣言してから活動に入る ・実施計画に基づき実習をする ・活動終了後は活動先の方々、メンバーに目標達成レベルを口頭で報告する	・目標達成レベルを口頭で報告できる ・家政学の視点で地区の課題を1つ以上発見できる ・ボランティア先の方に感謝の言葉(ありがとうございます以外)を伝えることができる ・自らメンバーに声掛けをして活動ができる	(復習) ・ボランティア先での自己の活動課題を把握しておく ・本日の自己の活動課題と解決行動を振り返り、課題を明確にしてワークシートに記述する		
5週 /	・pisa 型学力、社会人基礎力、建学の精神(四大精神)の実践 ・2回目の活動内容を確認			・自己の pisa 型学力、建学の精神(四大精神)、社会人基礎力を振り返り、課題をワークシートに記述する		
6週 /	<活動内容のチェック> ・実施計画案と活動内容についてチェックし、課題発見、解決案の見直し ・自己の役割について、問題点を改善 ・活動中の pisa 型学力、社会人基礎力、建学の精神(四大精神)の振り返り ・2回目の活動を具体化	実習 ・実習の振り返りは実施計画書を基に PDCA の「Check - Action」を実施する	・実施計画と活動内容がチェックできる ・活動2回目では pisa 型学力、社会人基礎力、建学の精神を発揮させる具体的な行動目標が発表できる	(予習) ・活動2回目の実施計画書を確認する ・自己の pisa 型学力、建学の精神(四大精神)、社会人基礎力の発揮法を確認する (復習) ・活動2回目の実施内容用を整理して、ワークシートに記述する	30	主体性 実行力 課題発見力

7週 /				(予習) ・活用に必要な物品、注意する事を確認する	
8週 /	<活動2回目>			・自己の pisa 型学力、建学の精神（四大精神）、社会人基礎力をどのように発揮するか意識づける	主体性 実行力 働きかけ力
9週 /	・実施計画に基づき、グループの達成目標、自分の行動目標を確認して活動 ・疑問点等はメモし、活動終了後課題の整理、課題の達成度、学びを整理 ・活動中の pisa 型学力、社会人基礎力、建学の精神の実践 ・3 回目の活動内容を確認	実習 ・現地で、自己の行動目標を宣言してから活動に入る ・実施計画に基づき実習する ・活動終了後は活動先の方々、メンバーに目標達成レベルを口頭で報告する	・目標達成レベルを口頭で報告できる ・家政学の視点で課題解決の提案が1つ以上できる ・ボランティア先の方に地区の課題について話をする ・ボランティア先の方へ感謝の言葉(ありがとうございます以外)を伝えることができる ・自らメンバーに声掛けをして活動ができる	・ボランティア先で自分の活動課題を把握しておく (復習) ・本日の自己の活動課題と解決行動を振り返り、課題を明確にしてワークシートに記述する ・自己の pisa 型学力、建学の精神（四大精神）、社会人基礎力を振り返り、課題をワークシートに記述する	30 課題発見、創造力、発信力、傾聴力、状況把握力、柔軟性、規律性、ストレスコントロール力
10週 /	<活動3回目>			(予習) ・活用に必要な物品、注意する事を確認する	
11週 /	・実施計画に基づき、グループの達成目標、自分の行動目標を確認して活動 ・疑問点等はメモし、活動終了後課題の整理、課題の達成度、学びを整理	実習 ・現地で、自己の行動目標を宣言してから活動に入る ・実施計画に基づき実習する ・活動終了後は活動先の方々、メンバーに目標達成レベルを口頭で報告する	・目標達成レベルを口頭で報告できる ・家政学の視点で課題解決の提案が1つ以上できる ・ボランティア先の方に地区の課題について話をする ・ボランティア先の方へ感謝の言葉(ありがとうございます以外)を伝えることができる ・自らメンバーに声掛けをして活動ができる	・自己の pisa 型学力、建学の精神（四大精神）、社会人基礎力をどのように発揮するか意識づける ・ボランティア先で自分の活動課題を把握しておく (復習) ・本日の自己の活動課題と解決行動を振り返り、課題を明確にしてワークシートに記述する ・自己の pisa 型学力、建学の精神（四大精神）、社会人基礎力を振り返り、課題をワークシートに記述する	30 主体性 実行力 働きかけ力 状況把握力 課題発見、創造力、発信力、傾聴力、規律性、柔軟性 ストレスコントロール力
12週 /	・活動中の pisa 型学力、社会人基礎力、建学の精神の実践する ・3 回目の活動内容を確認				
13週 /	<活動達成度の評価> ・ボランティア活動の計画・実施・課題設定・目標設定・成果と pisa 型学力、社会人基礎力、建学の精神について振り返る ・次回の活動報告(スピーチ)の原稿を作成	実習 ・振り返りワークシートで、活動内容を整理する ・活動計画書と実践活動を PDCA から確認する	・PDCA サイクルの実施・目標設定・結果・ pisa 型学力・社会人基礎力・建学の精神について評価できる ・スピーチ原稿が作成できる	(予習) ・自己の活動を PDCA に当てはめ確認し、課題発見と解決方法を整理し、メンバーに発表できるようにワークシートに記述する (復習) ・自己の成果を発表内容を作成して、次回の発表に臨む	90 主体性 実行力 課題発見力 創造力

14週 /	<p><成果発表グループ内></p> <ul style="list-style-type: none"> ・全員(前期・後期)のグループメンバーは全員参加する ・発表は1人7分、質疑応答3分 ・15週の発表代表を選出する ・発表代表の原稿をブラッシュアップ 	<p>実習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発表者は計画書・活動内容・成果・課題と pisa 型学力、社会人基礎力、建学の精神についてわかりやすく伝える ・発表を評価する 	<ul style="list-style-type: none"> ・評価はルーブリックでこない、5段階中、平均3以上とることができる 	<p>(予習)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自己の成果内容を作成して、次回の発表に臨む <p>(復習)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自己の発表について振り返り、課題を整理しワークシートに記述する ・メンバーの成果発表から学んだことをワークシートに記述する 	60	<p>主体性 働きかけ力 課題発見力 発信力 傾聴力</p>
15週 /	<p><成果発表 全体></p> <ul style="list-style-type: none"> ・自己のボランティア活動の成果を到達目標①～④の内容を観点に発表 ・グループ代表が発表 ・聴講する学生は質問と発表内容について気づいたことを記述 ・教員は発表を評価 	<p>実習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・成果発表と聴講をすすめる ・発表者に質問をすすめる ・発表内容を評価する 	<p><発表者></p> <ul style="list-style-type: none"> ・発表は pisa 型学力・社会人基礎力・建学の精神を分かりやすくつたえることができる <p><聴講者></p> <ul style="list-style-type: none"> ・発表より課題を見つけることができる ・課題解決法を提案できる <p><全員></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートを整理することができる 	<p>(予習)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発表代表者のスピーチ内容をメンバー全員で、ブラッシュアップして臨む <p>(復習)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1～15週ワークシートを整理し、自己の成果と課題を明確にする 	60	<p>主体性 働きかけ力 課題発見力 発信力 傾聴力</p>

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
 ストレスコントロール力

